



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 法務室長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 石栗 秀
 (氏名) 草野 考弘
 TEL 03-6414-5527

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,501	16.4	1,172	26.8	1,426	24.2	981	50.3
2022年3月期第2四半期	26,197	5.4	1,600	84.8	1,882	76.2	652	8.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 321百万円 (63.2%) 2022年3月期第2四半期 873百万円 (35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	72.75	
2022年3月期第2四半期	46.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	92,325	67,587	73.2	5,008.64
2022年3月期	100,458	67,918	67.6	5,037.45

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 67,587百万円 2022年3月期 67,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	12.8	600	73.1	1,000	64.5	700	64.6	51.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2022年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	15,325,642 株	2022年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	1,831,389 株	2022年3月期	1,842,873 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	13,484,877 株	2022年3月期2Q	14,013,031 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)のわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進むなか緩やかに持ち直しておりますが、世界的な物価高騰やエネルギーの供給不安等の課題があり、先行きは不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や安価な輸入加糖調製品・異性化糖・高甘味度人工甘味料の増加等により砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比16.4%増の30,501百万円となりましたが、経常利益は、砂糖事業及び飼料事業の損益悪化により、前年同期比24.2%減の1,426百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は持分法適用関連会社の株式売却損675百万円を特別損失へ計上したため、前年同期比50.3%増の981百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初19.37セントで始まり、世界景気の後退懸念から17セント台に一時的に下落したものの、原油価格の上昇に伴い、18.42セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初204円～205円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まりましたが、急激な円安やエネルギーコスト上昇の影響を受けて、8月に216円～217円に上昇し、当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんでいる販売量が、清涼飲料や外食向け等の業務用において回復しつつあり、販売価格の上昇もあって、売上高は前年同期を上回りました。

精糖は、家庭向けの販売量が減少したものの、業務用の販売量に回復が見られ、売上高は前年同期を上回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比18.2%増の21,400百万円となりましたが、販売費の増加等により損益が悪化し、前年同期比16.4%減の871百万円のセグメント利益となりました。

<食品事業>

イーストは、主に業務用の生イーストの販売量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノースやフラクトオリゴ糖の販売量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比11.9%増の1,252百万円となり、販売費の削減に努めたこと等により、15百万円のセグメント利益(前年同期は3百万円のセグメント損失)となりました。

<飼料事業>

配合飼料は、販売量はほぼ変わらないものの、販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、繰越在庫の販売が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比11.9%増の5,020百万円となりましたが、原材料価格高騰の影響を受け、230百万円のセグメント損失(前年同期は171百万円のセグメント利益)となりました。

<農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、そ菜用の販売量増加により、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、ビート用移植機等の売上が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比28.7%増の1,513百万円となり、そ菜用紙筒の売上増加の影響等により、76百万円のセグメント利益(前年同期は27百万円のセグメント損失)となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントは、売上、利益ともほぼ前期並となりました。

不動産セグメントの売上高は756百万円となり、セグメント利益は480百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業は、石油類の販売価格上昇や経費削減により、売上高は前年同期比 1.5%増の 558 百万円となり、98 百万円の営業損失（前年同期は 120 百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 8,133 百万円減の 92,325 百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比 8,128 百万円減の 46,823 百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比 4 百万円減の 45,501 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 7,802 百万円減の 24,737 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 7,142 百万円減の 15,484 百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比 660 百万円減の 9,252 百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比 330 百万円減の 67,587 百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、7,597 百万円の収入となり、前年同期に比べ、5,797 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に売上債権の増加で 2,349 百万円、棚卸資産の増加で 2,022 百万円、法人税等支払額の増加で 594 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、613 百万円の支出となり、前年同期に比べ、1,464 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出で 666 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、11,126 百万円の支出となり、前年同期に比べ、2,690 百万円の資金の減少となりました。

これは、短期借入金の収支差による支出で 2,600 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 5,503 百万円減少し、7,007 百万円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2023 年 3 月期の業績予想につきましては、2022 年 5 月 13 日に公表いたしました 2023 年 3 月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022 年 11 月 8 日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160	3,207
受取手形及び売掛金	7,329	8,676
有価証券	6,000	3,800
商品及び製品	27,616	14,003
仕掛品	3,284	681
原材料及び貯蔵品	2,996	8,844
その他	1,571	7,616
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	54,952	46,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,362	11,309
その他（純額）	12,245	13,211
有形固定資産合計	23,607	24,520
無形固定資産		
	425	402
投資その他の資産		
投資有価証券	19,809	18,895
退職給付に係る資産	1,502	1,513
その他	162	170
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,473	20,577
固定資産合計	45,506	45,501
資産合計	100,458	92,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,749	1,510
短期借入金	14,663	4,253
未払法人税等	954	438
その他	5,259	9,282
流動負債合計	22,626	15,484
固定負債		
長期借入金	226	165
役員退職慰労引当金	24	11
退職給付に係る負債	4,499	4,278
その他	5,162	4,797
固定負債合計	9,913	9,252
負債合計	32,540	24,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,416	8,413
利益剰余金	44,934	45,241
自己株式	△3,528	△3,503
株主資本合計	58,101	58,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,367	8,712
繰延ヘッジ損益	3	10
退職給付に係る調整累計額	446	434
その他の包括利益累計額合計	9,816	9,157
純資産合計	67,918	67,587
負債純資産合計	100,458	92,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	26,197	30,501
売上原価	18,688	22,864
売上総利益	7,509	7,637
販売費及び一般管理費		
販売費	4,416	4,949
一般管理費	1,491	1,515
販売費及び一般管理費合計	5,908	6,464
営業利益	1,600	1,172
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	312	340
持分法による投資利益	21	15
その他	33	37
営業外収益合計	369	393
営業外費用		
支払利息	53	53
固定資産処分損	22	64
その他	11	21
営業外費用合計	87	139
経常利益	1,882	1,426
特別利益		
投資有価証券売却益	0	3
固定資産売却益	3	-
役員退職慰労引当金戻入額	1	-
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産処分損	14	43
関係会社株式売却損	675	-
特別損失合計	689	43
税金等調整前四半期純利益	1,197	1,387
法人税等	544	406
四半期純利益	652	981
親会社株主に帰属する四半期純利益	652	981

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	652	981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△654
繰延ヘッジ損益	△0	6
退職給付に係る調整額	5	△11
その他の包括利益合計	220	△659
四半期包括利益	873	321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873	321
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,197	1,387
減価償却費	1,124	1,125
持分法による投資損益(△は益)	△21	△15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△171	△216
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2	△32
受取利息及び受取配当金	△313	△340
支払利息	53	53
有形固定資産除却損	18	43
関係会社株式売却損益(△は益)	675	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,001	△1,347
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,389	10,367
前払費用の増減額(△は増加)	△117	△98
未収入金の増減額(△は増加)	971	783
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,087	△6,768
仕入債務の増減額(△は減少)	115	△238
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26	△41
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,629	3,572
その他	△10	△60
小計	13,413	8,173
利息及び配当金の受取額	313	340
利息の支払額	△70	△59
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△262	△857
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,395	7,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	680	1,010
関係会社株式の売却による収入	776	-
有形固定資産の売却による収入	3	2
有形固定資産の取得による支出	△873	△1,539
貸付金の回収による収入	300	-
貸付けによる支出	△9	△5
預り保証金の受入による収入	30	3
預り保証金の返還による支出	△78	△66
その他	21	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	850	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,830	4,130
短期借入金の返済による支出	△9,630	△14,530
長期借入れによる収入	130	-
長期借入金の返済による支出	△70	△71
配当金の支払額	△697	△671
自己株式の売却による収入	10	25
その他	△7	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,436	△11,126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,809	△4,142
現金及び現金同等物の期首残高	6,701	11,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,511	7,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,101	1,119	4,485	1,175	765	25,647	549	26,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	105	14	7	13	62	203	2,425	2,628
計	18,207	1,133	4,493	1,188	828	25,851	2,974	28,825
セグメント利益 又は損失(△)	1,041	△3	171	△27	474	1,656	△120	1,536

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,656
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△120
セグメント間取引消去	60
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,600

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	21,400	1,252	5,020	1,513	756	29,943	558	30,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	17	7	4	62	208	6,390	6,599
計	21,517	1,270	5,027	1,517	819	30,152	6,948	37,100
セグメント利益 又は損失(△)	871	15	△230	76	480	1,212	△98	1,113

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,212
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△98
セグメント間取引消去	58
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,172